

花巻の仕事

Made in HANAMAKI



南部八割そば(茹で冷凍そば)

地元の企業と農産物販売組合が共同開発した冷凍そば。市内で育てられたソバの実を丁寧にひいたそば粉と、国内産の小麦を使用。産地限定の冷凍茹で八割そばとしては国内初の商品です。茹で上げたそばを急速冷凍することで実現した、そば本来のみずみずしい香りと口の奥に広がるほのかな甘みが特徴。沸騰したお湯で30秒ほど湯がくだけで、そば処のような本格的な味が楽しめます。

販売元 大興寺農産物販売組合(上台産直センターどりーむ、石鳥谷町大興寺17-4-3、☎0198-46-1677)

販売代理店 株式会社 北斗(大通り1-12-19、☎0198-29-5596)

■**どんなトラブルがあるの？**
○5年以上住んでいたアパートを退去する際に、ハウスクリーニングや畳の交換、壁紙の張り替えなどの代金を請求され、敷金がかく返ってこない。通常の使用をしていただけなのに、支払いに感じなければならぬ。
■**注意することは？**
○トラブルを避けるには、費用負担の基本的なルールを知り、契約する時に退去時の修復の範囲や敷金の返還条件を確認しておく

■**困ったときは？**
○市民生活総合相談センター(☎24-21111内線259)へ
くことが大切です
○入居前に貸主や不動産業者と室内の点検を行い、記録や写真を撮っておきましょう
○借り主の不注意などによるキズや汚れは借り主に修繕義務があります。通常使用による損耗や経年劣化は、貸主に修繕義務があります。話し合いでの解決が難しいときは、民事調停や少額訴訟などの手続きもあるので検討してみましょう

市民生活コーナー

賃貸住宅 敷金精算のトラブル

大迫の神楽を たくさんの人に知ってほしい

◆大迫神楽の日実行委員会
会長をされていると伺いましたが
平成20年1月に準備委員会を立ち上げて、同年8月に第1回「神楽の日」を開催しました。大迫の神楽を知ってもらい、たくさんの方に大迫を訪れてもらいたいという思いで始めました。
◆「神楽の日」について教えてください
ユネスコ無形文化遺産に登録された早池峰神楽の「岳神楽」と「大償神楽」、市無形民俗文化財に指定されている「八木巻神楽」の3団体が交代で、8月・12月・1月を除く毎月第2日曜日に定期公演を行っています。

1回の公演で、8〜9演目を舞うため、どの団体も昔の演目を再現するなど研究を重ねています。また県内外から神楽好きの人がたくさん見に来ます。中には青森や関東方面などから毎回来てくださる方もいます。観客は目が肥えているので、この「神楽の日」は出演する神楽団体にとって技を磨く場にもなっています。
◆今後の目標は？
市内には、早池峰神楽の兄弟神楽や弟子神楽がありますが、その方々にも出演してもらいたいのです。また「神楽の日」を見たことのない市内の人たちにも、ぜひ見てほしいです。

パーソナル PERSON'S 91



やま かげ よし かつ
山影 義一 さん
(大迫町内川目 66歳)

The world and HANAMAKI 世界と花巻 vol.13



「清明」
問西樓禁煙何處好？
綠野晴天道。
馬穿楊柳嘶。
人倚鞦韆笑。
探鶯花總教春辭倒。

故人をしのぶ中国の楽しい祝日「清明」

春風が吹くと、天地が明るく清らかになります。4月5日前後のこの季節を中国では昔から「清明」と呼んでいます。上の詩は、西暦1500年ごろのもので、わくわくする清明の情景を表しています。

清明で一番大事な行事は、先祖の墓参りと墓の掃除です。この風習は、清明の前日の「寒食」といわれる行事に由来します。

古代から人々は、清明という季節の変わり目に合わせて「新火」を起こしますが(起火)、その前に一年間使った「旧火」を消し(禁火)、火が消された後の何日間は事前に用意した冷たい食べ物を食べます。この風習を寒食といい、古いものを送る意味が含まれ、それが故人をしのぶこと、先祖を祭ることにもつながります。

寒食の次に迎えるのが清明であるため、清明にはそれにふさわしい行事として、楽しく生き生きとした「踏青(※1)」「ブランコ」「風揚げ」「蹴鞠」「馬球(※2)」「植樹」などの風習があります。

このように、寒食と清明は全く違う発想から全く違う行事が行われますが、「禁火」は「起火」につながり、「故人を祭る」ことは「生きる人を加護する」ことにつながるという緊密な思想があります。現在は、寒食の行事が清明に吸収されたので、清明は、先祖を大切にし、楽しく過ごす特別な祝日になりました。

※1 男女が春の野山で遊ぶこと
※2 馬に乗って行う球技

大連市協力交流研修員
呉 勇武

いきいき仲間たち



「中高年から始めるらくらくピアノサークル」は、市の講座でピアノの楽しさに触れたメンバーが集まり、自主サークルとして、平成24年1月に石鳥谷生涯学習会館で活動をスタートしました。
楽譜が読めなくても気軽に始められるピアノサークルとして人気を集め、平成24年4月には、まなび学園でも活動を開始。50代から80代の男女23人が月2回の練習や年2回の発表会などを通じて交流を深めています。
メンバーのほとんどは、同サークルの活動で初めてピアノを習ったという初心者。「ボ

ケ防止に始めたという人もいますよ」と会の代表の菊池恵子さんは話します。
会のモットーは「気軽、喜び、集い」。無理せず少しずつ練習し、完璧を求めず「ここまで出来た」と喜び、仲間との会話を楽しみながら和気あいあいと活動しています。



音符を指番号に置き換えた楽譜を見ながら、メロディーを響かせるメンバーの皆さん(写真は石鳥谷生涯学習会館での活動の様子)

楽しみながらメロディーを奏でる

中高年から始める らくらくピアノサークル

【問い合わせ】
代表 菊池恵子さん(☎45-6708)
玉山朱美さん(☎090-2849-5897)